

でべそ版ずっこけ狂言

ぼんさん・ぼんさん ギンナンパー



くさびら

座敷にくさびらが生えて困った狸。法印に祈禱を頼みますが、祈れば祈るほどくさびらは増え続け・・・



ぼんさん

名人の屋敷から盆山を持ち帰ろうとした男が、さんざんにからかわれて逃げ帰ります。

でべそのような形をした円形舞台をまあるく取り囲んで観る「でべそ版ずっこけ狂言」の第二弾
幼児さんから大人まで、三世代が一緒に楽しめる狂言を試行錯誤して創り続けてきた若駒が、今回も魅せます！！

何もないはずなのに、想像力を働かせるといろんなものが見えてくる!?

この無限に広がる想像の世界を 今、皆さんにお届けしたい！

普遍的な笑いだからこそ、分かりやすく安心して笑えるんです♪ みんなで笑いましょう！！

人はみな愚かさも賢さも同じように兼ね備えています。それをお互いに理解し、認め合って、ゆったりとした広い心で
過ごせば、日常に笑顔と笑い声があふれるでしょう。

「ずっこけ狂言」とはいえ、古典を彷彿させる面白さと、伝統芸能のエッセンスを盛り込んだずっこけ狂言シリーズは
今や2万人を超える子ども達、大人達を魅了してまいりました。

始まりはやっぱり、これも新曲三味線ロックで！

でべそ版ずっこけ狂言 ぼんさん・ぼんさんギンナンパー

原作:狂言^{ぼんさん}「盆山」^{くさびら}「菌」 翻案・演出:松本 則子 美術:神門 やすこ 道具:松原 康弘(人形劇団クラルテ)

ぼんさん

盆山とは・・・箱庭や盆栽の上に
自然の石や砂を用いて作った山

見どころ: 盆山を借りるため、名人の屋敷に忍び込む様を、狂言の所作を取り入れたパントマイム
で演じ、名人にからかわれ、苦し紛れに言う鳴き声や仕草が見もの。



盆山



日本のリズムであそぼう



日本の伝統芸能「三番叟」のリズムを、皆さんに演奏していただきます。会場を二手に分けて、
小鼓、大鼓、のリズムを手拍子で演奏、若駒が能管を吹いて合奏します。

くさびら

くさびらとは、キノコの事です

見どころ: 狸の家の座敷に抜いても抜いても生え続けるくさびらの姿と動き。

困り果てた狸は偉い法印様に祈禱を頼みますが、自らも棒をもってくさびらを退治しようと戦う場面。
しかし、法印がボーロンボロンと祈れど祈れど姿を変えて次々と現れるくさびらの様。
客席参加型バージョンでは会場の皆さんも「くさびら」となり狸と戦う場面を一緒に作り上げることも
できます。



桜田 舟完



藤原 正憲



藤堂 真沙子



誉田 創観



でべそ版とは、スバリ舞台のかたちです。
省スペースになり機動力もアップ！！
様々な会場でご活用ください。

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、舞台から客席までの距離を
取るなど対策を取りながら上演します

民族芸能アンサンブル若駒

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-4-9

Tel.06-6926-1244 Fax.06-6926-1245

<http://www.wakakoma.co.jp>

email: geinou@wakakoma.co.jp

